



小羽山

R5. 10. 1.
小羽山小学校だより
第617号



小羽山小HP



日常の生活と学習をつなぐ

今年度の全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。6年生対象で国語と算数の2教科が4月に実施され、出題形式は選択式・短答式・記述式でした。平均値で本校と県や全国と比較すると、国語、算数ともに県、全国の平均を下回る結果となりました。生活面では、「毎日同じ時刻に寝ている・起きる」子どもが県、全国より少ない傾向にあることも分かりました。

子どもたちの回答を見て教職員全員で分析を行い、改善策を協議しました。国語では、漢字や仮名遣い等を日常的に書く活動で使うようにするとともに、文章を書いた後に適切な文章になっているのか振り返る活動を充実させていきます。



<職員研修会>

算数では、問題にある情報を図等にかき表して解決を図る活動や作図等の手順を子どもたちの言葉で説明する活動を積極的に行っていきます。

検討していくと、学習したことを子どもたちが生活の中で活用することの大切さを再確認できました。習った漢字を使って日記を書く、わり算を使ってお菓子を分ける、分かりやすい文型を使って伝える・・・といった具合に、「日常の生活と学習をつなぐ」ことで身に付き、力となります。今後も子どもたちとともにがんばってまいりますので、“早寝・早起き・朝ご飯”といったよい生活習慣のサポートをお願いいたします。

<10月の主な学校行事等>



1	日	すくすく (手芸教室)	17	火	幼保小交流会 SC 来校 (13:00~17:00)
2	月	5年宿泊学習	18	水	学力定着状況確認問題(5年) 1年社会見学 3年習字教室 すくすく
3	火	5年宿泊学習	19	木	お話の会(5-1)
4	水	短縮授業(下校 13:00頃) すくすく	20	金	
5	木	お話の会(3-2)	21	土	
6	金	桃中訪問(6-1) 夢教室(4-1)	22	日	
7	土		23	月	6年修学旅行 教育実習終了
8	日		24	火	6年修学旅行
9	月	スポーツの日	25	水	すくすく
10	火	桃中訪問(5-1)	26	木	
11	水	幼保小連携 桃中訪問(6-2) すくすく	27	金	防災体験学習(4-1)
12	木	青空号 桃中訪問(5-2)	28	土	
13	金	人権教育参観日	29	日	すくすく (ダンス教室)
14	土		30	月	
15	日		31	火	2年社会見学
16	月	学力定着状況確認問題(6年) 委員会活動			

メディアコントロール週間

小羽山小学校の教育活動に関するアンケート(前期)結果について

7月に実施しました学校評価アンケートではご協力をいただきありがとうございました。

集計結果の分析・考察を以下にお示しします。

なお、集計結果(児童・保護者)や保護者の皆様からいただいた自由記述の詳細はホームページに掲載しておりますので、そちらも併せてご覧ください。



【R5 学校評価アンケート(前期) - 宇部市立小羽山小学校】

<http://www3.ube-ygc.ed.jp/oye/cat1401/r5.html>

【児童アンケート結果より】

設問13「だれにでも進んであいさつをしている」、15『ふるさと小羽山』が好きである」が高評価になっています。生活科や総合的な学習の時間を中心に地域人材や教材を学習活動に取り入れてきたことや、学校・家庭・地域が連携して児童を支えてきたことが高評価につながっていると思われます。あいさつ運動に関しても、児童(運営委員会)を中心にさまざまなアイデアを凝らしながら取り組んでおり、心のこもったあいさつで子ども同士は勿論、地域の各世代ともつながっていけるようにしていきたいと思います。

一方、設問5「本をよく読んでいる」は昨年度よりもさらに評価が下がってきており、改善がなかなかかどっていないことがうかがえます。さらに、昨年度12月の評価と比べてみると、「よくあてはまる」は微増しているのに対して、「だいたいあてはまる」が9.5ポイント減少し、「あまりあてはまらない」が5.2ポイント増加しています。これは、元々本が好きな子どもの数はあまり変わりませんが、「読まないよりは読む」といった子どもの読書離れが進んだことを表しています。「屋外遊びなど読書以外の時間も好きだけど本も読む」という子どもたちにももっと読書の魅力を伝えることができるようなしかけが必要だと感じます。

【保護者アンケート結果より】

設問3「人とかわりながら学ぶことを楽しいと感じている」は保護者も子どもも高評価で、特に「よくあてはまる」は昨年度12月と比較すると9ポイントも上昇しています。コロナ禍を越えさまざまな教育活動が再開されたことに満足感を得ていることの表れだと推察されます。また、全体的な肯定的評価(「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」)もわずかではあるが上昇しています。今後も家庭や地域から信頼され子どもたちが安心して過ごすことができるような学校づくりをめざしていきたいと思います。

評価が低かったのは設問13「地域行事に積極的に参加している」、14「子どもは「ふるさと小羽山」に愛着や誇りをもっている」といった地域学校協働活動の活性化に関わる項目です。特に、設問14では「わからない」と回答された方も少なくないので、学校だよりやホームページなどで地域活動の周知や参画も呼びかけていきたいと思います。他にも、現在の課題(メディアコントロール、体力向上、など)も依然として低評価の状態にあり、子どもたちを支える学校・家庭・地域が当事者意識をもって方策を考え協働的に改善していくことが必要です。引き続きご協力をお願いします。

【保護者アンケート自由記述について(一部)】 ※ ○…家庭からのご意見 ◆…学校としての考え方

○ 先生方の仕事の簡略化は分かるが、通知表はちゃんと学期ごとに渡してほしい。長期休暇中に苦手な分野を勉強したり、克服したりする機会がないので、分からないまま一年が過ぎてしまう気がする。

◆ お子様のがんばりや課題(長期休業を生かして取り組むとよいことなど)をお子様自身や保護者の皆様と共有する機会や方法を考えていきます。

○ 今の時期で既に熱中症予防のため昼休みは外で遊べない日もあったと聞く。子どもたちの安全のためとはいえ、この時期から外で遊べないのなら、これからずっと遊べないと思う。昨年度、お願いをしたところ、「時間を区切って遊ばせるとか、途中で飲水タイムを設けるなどの工夫を考慮する」と学校だよりにて回答をいただいたが、なるべく外で遊べる方法を考えていただけないだろうか。市内の他の学校も参考にいただき、子どもたちの安全と心と身体の健康を守るためにより良い形を作っていただきたいと思う。

◆ 今年度より「厳重警戒」の際も『外に出るときは帽子をかぶり水筒を持っていく』『運動の前・間(10分おき)・後に水分補給をする』という条件の下で屋外での運動を許可しています。お知らせが不十分でご心配をおかけいたしました。ご家庭でも赤白帽や通学帽の着用、水筒の持参をよろしく願いいたします。